

図書館報

聖隷クリストファー大学

第9号 2011.4

| | |
|-------------------------------|--|
| ❖ 学生の学びを応援する大学図書館 (平野美津子)・1-3 | ❖ この一冊 5-6 |
| ❖ “癒し”とは (飯田澄美子) 3 | ❖ NII 論文情報ナビゲータ「CiNii(サイニイ)」の紹介・・・ 7-8 |
| ❖ 歴史的な希少本 (鈴木崇巨) 4 | |



学生の学びを応援する大学図書館

図書館長(リハビリテーション学部 教授) 平野美津子

大学図書館

私が、まだ20代のころ、アメリカのイリノイ大学の図書館に初めて足を踏み入れた時に、その重厚な造りと所蔵図書の多さ、なによりも静寂さに圧倒されたものです。多くの学生たちが深夜まで黙々と膨大な資料や教材を前に静かに、静かに学習していました。2学部しかない小さな公立大学の出身である私には、まさにカルチャーショックでした。

イリノイ大学は、約4万人の学生をかかえる州立大学で、これまで11人のノーベル賞と18人のピューリッツァー賞受賞者を輩出し、18の学部を有するアメリカ合衆国中西部を代表する大学です。そのメインキャンパスであるイリノイ州のアーバナとシャンペーンにある、米国で3番目に大きな大学図書館で(ハーバード大学、エール大学に次いで第3番目だそうです)、約1,000万冊の蔵書を誇っているのですから、私が圧倒されたのも、「さもありなん」です。ちなみに、現在は、約100名のライブラリアンと約300名のスタッフがいて、さらにサービスデスクや配架作業、目録、資料修復など各所で学生が働いています。私も、在学中は、法学部の図書館で、日本語の法学関係の雑誌や資料の整理に、奨学金を得て働いていました。

本図書館(Main Library)の他に、学部学生用の図書館(Undergraduate Library)が地下の通路を隔てて地下に建てられています。

もちろん、こんな大きな大学図書館と本学の図書館を比べようというわけではありません。「大学という名の王冠に



イリノイ大学図書館(イリノイ大学ホームページより抜粋)

おける『宝石』、大学の『心臓』、キャンパスの『宝』という有形のシンボルにより長い間、象徴され続けて」(Paula Kaufman イリノイ大学図書館長)¹⁾ 来た大学図書館に起きているあたらしい「場」を紹介したいと思うのです。大学図書館はただ、膨大な蔵書と静寂な環境だけを保証するものではないという動きが起きています。

インフォメーション・コモンズ/ラーニング・コモンズ

インフォメーション・コモンズあるいはラーニング・コモンズという考えが大学図書館の考え方に広がってきました。インフォメーションあるいはラーニングという言葉はなじみがあるでしょう。コンピューターやWEB環境から生み出される「情報」(インフォメーション)と、「学習、学び」(ラーニング)という意味ですね。ではコモンズとは何でしょうか。コモンズとは元々は共有地を意味し、誰もが使えるスペースを指します。つまり、「共有の資源・公有の場であり、学習・研究のための共有資源、とりわけさまざまな情報資源の提供による「知の公共化」を具現した空間」²⁾という意味です。コンピューター資源とネットワーク環境さらに必要な資料群(従来図書館で所蔵していた印刷資料のほか、電子ジャーナル・電子ブック、電子辞書・データベースなどの電子資料)がインフォメーション・コモンズに必要な設備となっています。さらにラーニング・コモンズという言葉の中には、学生同士の教え合いを奨励し、学生の自主的な学習環境を創っていくという意味合いが多いのではないのでしょうか。

大学の授業が、ただ単に知識を教え込むだけではなく、教員と学生が、さらに学生同士が共に知識を構築し、積極的に知識を見つけ出し、生み出していく場としての授業に変わりつつある状況の中で、学生の学習形態も変化してきました。個人個人の学習だけでなく、PBL (Problem Based Learning: 問題立脚型学習)に代表されるような、グループ内で問題を解決していく学習方法が盛んに取り入れられるようになりました。そのためには、個人の学習スペースのほかに、グループでの学習にむいた広い机・作業場所などの使い勝手のよい環境も必要になります。つまり、静寂の中での学習環境の他に、図書館にグループでの議論や学習に向けられた「場」が新たに加わるようになったのです。

イリノイ大学学部学生用図書館のラーニング・コモンズ

イリノイ大学学部学生用図書館のラーニング・コモンズは、21世紀の学部学生に必要とされる勉強、学習、研究、コンテンツクリエーションを満たすために³⁾創られています。さらに、「今日の学生は、教育課程の学習をするのに必要な情報にアクセスできる場所としてだけでなく、学生の研究過程全体を支援し、どのような形であれ、最終的な知的成果を生じることを通して彼らの好奇心を引き寄せ、彼らの全研究プロセスをサポートする場所としての図書館を必要としている。」³⁾とも述べています。そして、学生たちは図書館員や、補助員から学習や研究に関する助言、情報収集方法、技術的サポート、レポート・論文の書き方などの支援も受けられるのです。

本学におけるラーニング・コモンズ

インフォメーション・コモンズあるいはラーニング・コモンズを成功させている欧米の大学では、単に環境を整備したことだけではなく、学生の学習・研究活動を向上させるために、学生が必要とする人的支援が備わっていることがあげられるようです。²⁾学生が必要とする支援とは、コンピューター操作から検索方法、レファレンスサービス、さらにはレポート・論文の書き方、学習相談まで幅広い支援が想定できるのではないのでしょうか。

また、文部科学省『先導的大学改革推進委託事業』今後の「大学像」の在り方に関する調査研究(図書館)報告書では、「とくに学生の学習・研究活動を向上させ十分な成果を獲得させるには、学生が必要とする人的支援が必要であり、そのような支援が備わっているインフォメーション・コモンズがとくに高い評価を得ているということです。これらがときに『ラーニング・コモンズ』と呼ばれることもある。ラーニング・コモンズとは、したがってインフォメーション・コモンズをさらに展開して、学生の主体的な学習活動を重視したものだといってよい。」²⁾とあります。

本学では2012年に新5号館に移転する予定の図書館にラーニング・コモンズを導入する計画があります。図書館を中心とした学生の学びを支える「場」をどのように提供していけるかを司書、教職員そして、何よりも学生たちと一緒に考えていきたいと思えます。

参考引用資料:

1) 大学図書館の役割と使命: 原罪と未来 イリノイ大学
図書館長Paula Kaufman講演記録(私立大学図書館教
会国際図書館教会シンポジウム)

www.nul.nagoya-u.ac.jp/janultokai/kaufman.doc

Accessed on Jan 5, 2011

2) 文部科学省『先導的大学改革推進委託事業』今後の
「大学像」の在り方に関する調査研究(図書館)報告
書—教育と情報の基盤としての図書館—
国立大学法人 筑波大学 平成19年3月

3) University of Illinois Library Homepage

<http://www.library.illinois.edu/> Accessed on Jan 5, 2011

4) 上田直人、長谷川豊祐亮著「我が国の大学図書館
におけるラーニング・コモンズの事例研究」名古屋大学
附属図書館研究年報. (7) [2008] 47～62

5) 永田治樹著 大学図書館における新しい「場」インフ
ォメーション・コモンズとラーニング・コモンズ 名古屋大
学附属図書館研究年報. (7) [2008] 3～14

6) 茂出木理子 幸せな図書館のつくりかた:ラーニング・
コモンズは図書館を救うか?(講演原稿)平成20年度 京
都大学図書館機構 第3回講演会記録

http://www.researchgate.net/publication/37840580_203

Accessed on Jan 5, 2011



“癒し”とは

前看護学研究科 教授 飯田澄美子

癒しについて感銘をうけた2冊の本を紹介したい。

◆「ビリーフ」—家族看護実践の新たなパラダイム—ロレ
イン・M・ライト他著(杉下知子監訳) 日本看護協会出
版会(2002年)

カナダのカルガリー大学では、家族看護臨床の場
(Family Nursing Unite)を設立しミラーのある部屋で病
人を持って悩む家族を対象として、家族が語ったストー
リーの中で、どこに問題があり、どの様にこの問題が解決
できるかを 家族と共に探す作業が行われ、その質問の
仕方、介入の方法、変化する場面等の研究が実践を通
して検討され、理論化されてきた。日本の家族看護学会
は1994年(平成6年)に設立されたが、第7回の特別講
演にライト博士を御招待することができた。講演内容は
「苦悩を癒すための方法」であった。

苦悩という深い体験には、人間として 特定の研究方
法をもつ必要があり、どの様な方法が有効であるかを実
践し検証していくことの大切さが話された。4つの論文の
紹介と治療的な会話、手紙、苦悩に耳を傾ける、とらわ
れている考え方に気づく様導く、とらわれている考え方に
気づくと生き方が変わる内容であった。その後、ラ
イト博士他による「ビリーフ」が著書としてまとめられ、日本

にも紹介された15年にわたり構築され理論化された大
著は、多くの示唆が与えられる。

◆「癒されて生きる」柳澤桂子著 岩波書店(1998)

著者は、三菱化成生命科学研究所主任研究員を歴
任されていた女性生命科学者である。長い年月を激しい
痛みのため、入院のくり返し、原因不明の病気のため、
悲しみと絶望を体験されてきた。遂に休職となり研究職
を解雇の知らせがきた時、神秘体験を経験されたという。
心の中にある価値体系の変換がおこり、自由になった心
から喜びを知り、生きる力が自分の内部から溢れるよう
になったという。その後の著者のいかにして癒され、生き
甲斐を持つことができるようになったかの心の旅路が生命
科学者の立場から述べられている。

人間を見ない現代医療への問題提起をはじめ、すばら
しい医師や看護師との出会いを通して、本当の癒しは、
人間の限界に涙する時、両者の心に流れる共感こそが、
恐れと寂しさを慰めてくれる、と述べられている。

限りない勇気と励ましが与えられる。



歴史的な希少本

宗教主任(社会福祉学部 教授) 鈴木崇巨

私は長く教会の中で働いてきたので、本格的に何かを調査したり学術的な研究をしたりすることは別世界のことであった。大学に勤めるようになり、人生も晩年を迎えるようになり、どうしても知りたいことがあって、それをじっくり研究しようと思い立った。

それは私が生きてきたわずか数十年の間に、なぜ韓国が儒教の国からキリスト教の国に変わったのかと言うことであった。これは世間ではあまり問題にされていないが、私たち教会の人間にとっては、まさに奇跡のような出来事なのだ。

私は先ず韓国キリスト教徒の人口の推移を調べることにした。ところが、資料がほとんど無いのである。なぜか。調べてゆくうちに、韓国プロテスタント教会の過去わずか120数年の歴史の内36年間は日本によって統治され、教会は激しい弾圧と迫害の下にあったため、統計を取るどころではなかったからだと分かった。李朝時代から計算すればカトリック教会とプロテスタント教会の信者の数万人が殉教しているのである。「数万人」と言う概数の表現は、大げさな表現ではなく、正確な資料が無いためである。研究者によれば十数万人と言う人もいる。韓半島の人々が受けた迫害はあのローマ帝国のネロ皇帝による迫害以上であったことがしのばれる。

結局、残っている戦前の資料で信頼できるものは日本にあった。朝鮮総督府が統治目的で集めた資料で『朝鮮に於ける宗教及祭祀一覽』(昭和12年)という黄色くなった紙の冊子であった。私はそれを永田町にある国会図書館の特別閲覧室で読むことができた。写真やコピーをとることは許されない希少本で、丁寧に和紙で包んでいた。もし韓国の研究者が自国の歴史資料を手に入

れようとするなら、日本に来てこのように探し当てなければならないのである。彼らにとってはなんと悲しく悔しいことであろうか。

研究を進めて行くうちに、このような歴史的な悲劇が、韓国キリスト教徒急増の背景にあることを知らされてゆくことになった。そして日本人はこのような過去の歴史をもっと直視しなければならないと強く思った。



殉国者 7,509 人にのぼる日本からの独立運動記念塔
一斉蜂起の3月1日は韓国では国民休日になっている
(2008年3月1日、筆者)

この一冊



本学教員からのお勧めの一冊

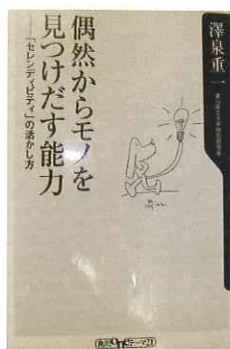
(五十音順)



横江公美著『話は5行でまとめなさい』中央法規出版

簡潔に訴える文を書くのは難しいものです。本書で紹介される「5層サンドイッチ構造」の文章術は、メモから、レポート、論文まで、あらゆる文章に応用可能。「目からうろこ」級の納得でした。

(リハビリテーション学部作業療法学科 教授 小田原悦子)



澤泉重一著『偶然からモノを見つけだす能力―「セレンディピティ」の活かし方―』角川書店

私の中にもある力！日常の中にある偶然からの発見の楽しさ！として、セレンディピティが親しみを持って迫ってきます。「セレンディピティ」の言葉の由来となっている「寓話：セレンディップの3人の王子」も面白いお話です。

(看護学部 准教授 佐藤道子)

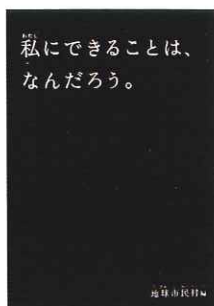


J.D. サリンジャー著『ライ麦畑でつかまえて』(白水Uブックス)

16歳の少年が、あまりのクレイジーさに名門高校を退学になって、家に帰るまでの話。その間、様々なことを経験しながら、世の中のインチキなことについて考えを述べる。10代に読んで、共感できすぎる自分が情けなくなったのを覚えている。

(看護学部 助教 清水隆裕)





地球市民村編 『私にできることはなんだろう』 ascom

『この本が、一人でも多くの人の手に届き、一つでも多くの気づきをもたらしますように』あとがきにあるこのメッセージを学生の皆さまにお伝えしたいと思います。いつでも、どの頁からでも、どんな心境の時にも読むことが出来る本です。

(社会福祉学部臨床介護福祉学科 助教 野田由佳里)



驚田清一著 『「待つ」ということ』 角川選書

目まぐるしく流れ続ける時間の中で、ひと息ついて自分を取り戻したいと思う時、手に取りたくなるのが本書です。決して「易しい」内容ではないけれど、人の価値は‘doing’ではなく‘being’にあることを確認させてくれる「優しい」本です。

(社会福祉学部社会福祉学科 准教授 福田俊子)



川喜田愛郎著 『近代医学の史的基盤(上・下巻)』 岩波書店

西洋医学の源流を辿る医学史上絶世の大著である。著者は、大英図書館にこもり、7年もの歳月をかけて膨大な資料を集め、著作だけに没頭し続けた。現代社会ではもはや絶滅危惧種となった清貧の学者、比類なき真の学者による著である。

(リハビリテーション学部理学療法学科 准教授 前野竜太郎)



NII 論文情報ナビゲータ「CiNii (サイニイ)」の紹介

CiNii(国立情報学研究所論文情報ナビゲータ【サイニイ】)は、学協会刊行物・大学研究紀要・国立国会図書館の雑誌記事索引データベースなど、学術論文情報を検索の対象とする論文データベース・サービスです。

I. 検索語を入力します。

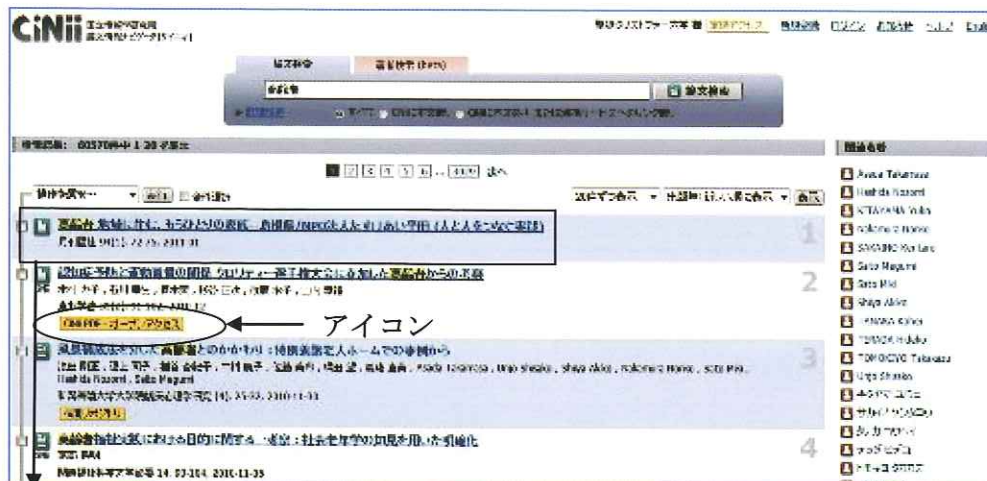


図書館ホームページ

(<http://collib.scirei.ac.jp/>)

の情報検索の「データベースで探す」をクリックします。全分野の「CiNii」をクリックします。検索したいテーマのキーワードを入力し、検索します。キーワードの後にスペースを空けて更にキーワードを入力すると絞り込み検索ができます。

II. 検索結果が表示されます。



高齢者 地域に住む、もうひとりの家族--島根県/NPO法人たすけあい平田 (人と人をつなぐ実践)

月刊福祉 94(1), 72-75, 2011-01

論文名

論文掲載雑誌名 巻(号), ページ数, 発行年月

Ⅲ. 論文（本文）を見ることができる場合があります。

検索結果の論文掲載雑誌名の下に以下のアイコンが表示されている場合があります。
CiNiiで本文が利用できるものもあります。医中誌Webでは図書館の所蔵情報やメディカルオンラインとリンクされているので、**医中誌** を利用すると便利です。

| | |
|----------------------|---------------------------|
| CiNii PDF - オープンアクセス | どこのパソコン(自宅)からでも本文を利用できます。 |
| CiNii PDF - 定額アクセス可能 | 大学のパソコンから本文を利用できます。 |
| CiNii PDF - 有料 | 有料で本文を利用できます。 |
| CiNii PDF - 未公開 | 刊行後、一定期間中は本文の利用ができません。 |
| CiNii Link1 | 無料の文献へのリンクです。 |
| 機関リポジトリ | 機関リポジトリで公開された文献へのリンクです。 |
| CrossRef | 出版社の文献へのリンクです(一部文献利用可能)。 |
| 医中誌 | 医中誌 Web とのリンクです。 |
| J-STAGE | J-STAGE の論文へのリンクです(利用不可)。 |

Ⅳ. OPAC を検索して、文献の掲載誌を探します。

図書館ホームページの情報検索の「本学の蔵書を検索する」を開き、掲載雑誌名を入力し、検索します。探している論文の掲載巻号があるかどうか確認します。

聖隷クリストファー大学図書館

検索結果詳細：雑誌

検索条件入力 > 検索結果一覧 > 検索結果詳細

◀ 前へ 次へ ▶ 1/2件

月刊福祉 目次あり
ゲッカン フクシ
全国社会福祉協議会【編】
東京：全国社会福祉協議会、1961-

ブックマーク 新着を通知

●雑誌の所蔵:

| 所蔵巻号 | 請求記号 | 所在 | 所蔵年 | 受入継続 | 備考 |
|--|------|------|-----------|------|----|
| 1 64-66, 68, 72(1-6, 8-11, 13-14), 74-93, 94(1)- | S000 | 製本雑誌 | 1985-2011 | 継続中 | |

図書館は公共の場です。マナーを守ってお互い気持ちよく利用しましょう。

図書館報 第9号/発行・聖隷クリストファー大学図書館/2011年4月1日

〒433-8558 静岡県浜松市北区三方原町 3453/TEL:053-439-1416/FAX:053-414-1146

E-mail: cl-library@admin.seirei.ac.jp 図書館ホームページ URL: http://collib.seirei.ac.jp/